

# 令和5年度事業報告書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

特定非営利活動法人よみたん自然学校

## 1 事業の成果

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが令和5年5月8日に「5類」に移行され、3年以上に渡るコロナ禍が終わり、コロナ禍前と同様の活動が可能となった。今年度は、20周年イベントを5回に渡って実施し、認定 NPO 法人取得の周知も行った。寄付が多く集まり、単年度の黒字化を達成したが、物価や人件費の高騰の影響を受けており、厳しい経営が続いている。

自然体験活動等の企画及び実施事業のうち、3年保育「幼児の学校」事業は定員である20名程度、フリースクール「小学部」事業は定員20名を超える通学者がおり、昨年度以上の規模で継続して実施することができた。しかし、フリースクール「小学部」は受け入れきれない入学希望者がいる状況が続いている。また、キャンプ事業については、今年度も例年通りの宿泊型での開催となったが、すべてのコースで定員を満たすには至らず、台風の影響で中止のコースもあった。しかし、参加費を値上げしたことで、事業収益の目標には届かなかったものの、前年度より収益は増加した。ちんすこうづくり体験については、体験人数は微減となったものの、体験料の値上げにより収益は微増となった。

人材育成事業では、引き続き独自の実習生を公募し受け入れを行うとともに、保育士等子どもと関わる活動をしている人を対象とした研修会や自然体験活動指導者の講習会を行ったことで、収益が増加した。普及啓発事業では、創立20周年&認定 NPO 法人取得周知イベントとして講演会やたき火 de Cafe 等を実施し、収益が増加した。調査研究事業については、今年度は成果をあげられなかった。物品販売事業については、創立20周年&認定 NPO 法人取得周知イベントなどの開催機会が増えたものの、販売数は伸びず、収益も微減となった。

本年度は、20周年の寄付募集チラシを作成し、イベントを実施して認定 NPO 法人の周知を強化したことにより、前年度より寄付金が大幅に増加した。また、多様な支援に対応できるように、賛助会員の会費を変更し、年次会員7種、月次会員5種としたことで、新しい会員を獲得することができた。しかし、一方で、すでに賛助会員として登録されている方の中で、継続していただけない方もおり、賛助会員の会費納入100名を維持することが厳しくなっている。継続的な支援をしてくださる方を増やすことが課題となった。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者の 範囲及び人数	事業費の 金額 (千円)
自然体験活動 等の企画及び 実施事業	豊かな自然環境の中での びのびと過ごし、自然や 人との関わりを通して、 自分らしく生き抜く力と 優しさを持った自立心を 育む場、3年保育「幼児 学校」事業。	通年	よみたん 自然学校 及びその 周辺	10人	幼児 20人	22,002
	学びたいと思う子どもた ちの気持ちや主体性を尊 重し、その子自身のペー スで学び成長する場、フ リースクール「小学部」 事業。	通年	よみたん 自然学校 及びその 周辺	11人	小学生 25人	
	かまどでご飯を炊き、海 で遊び、テントを張って 泊まる。自然体験活動や 環境教育のねらいをコー スごとに設定した宿泊& 日帰りキャンプ事業。	通年	よみたん 自然学校 及びその 周辺	19人	子どもから 大人まで のべ169人	
	琉球伝統銘菓ちんすこう づくり体験。ガスオーブ ンで焼くお手軽コースと 石窯で焼く本格コース。	通年	よみたん 自然学校	6人	観光客 861人	
人材育成事業	自然体験活動指導者養成 、学生ボランティア養成 、実習生の受け入れ等の 指導者養成事業。	通年	よみたん 自然学校 及び 全国各地	7人	大人、学生 のべ114人	508
普及啓発事業	当法人主催のイベント、 講演会、勉強会、あるい は、NPO等同じ理念を持 つ団体等主催のイベント 、講演会、勉強会の講師 派遣など、持続可能な社 会につながる暮らしを普 及し啓発する事業。	通年	よみたん 自然学校 及び 全国各地	8人	広く一般	1,403

調査研究事業	主体性を育み、ジェンダーや障害など多様性を認め、自然環境を保全すること等、持続可能な社会づくりのための調査研究、学会発表、論文投稿等の事業。	通年	よみたん自然学校及び関連学会	1人	広く一般	17
物品販売事業	活動を紹介し広報するための、Tシャツ等関連グッズの販売。	通年	よみたん自然学校及び全国各地	4人	子どもから大人まで 46人	179